

令和6（2024）年度第1回柏崎市男女共同参画審議会議事録(概要)

日 時	令和6（2024）年5月7日（火）15：00～17：00
会 場	柏崎市役所1階 多目的室
出席委員	内橋委員、宮崎委員、片山委員、飯田委員、矢島委員、板羽委員、桑原委員、福原委員、田村委員、柄澤委員、小竹委員 11人 (欠席：関委員)
事務局	総合企画部 井比部長、人権啓発・男女共同参画室 大塩室長、小林主幹、平田室長代理、吉原主事 5人
議 事	男女共同参画に関する意識調査等の実施について

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 委員紹介（事務局紹介）
- 4 議事概要

男女共同参画に関する意識調査等の実施について

（事務局から資料1、2について説明）

- 議長 市民意識調査質問票について、意見・質問はあるか。
- A委員 問6の回答項目3から5までの中の「子どもができるまで」と「子どもができたら」は、妊娠をしたときか出産をしたときなのかが分かるように文言をはっきりさせた方が捉えやすいのではないかと。企業の方の意見を伺いたい。
- B委員 回答項目4であれば、その後に育児休業等の記載もあり、出産した後という認識であり、回答項目5については、出産していなくても妊娠中も含むと捉えられるため、この表現でよいと思う。
- 議長 このままとする。
- C委員 問7の質問項目が誰に聞いているのかが分かりづらく、回答やイメージがしづらいのではないかと。
- D委員 女性のために聞いている項目のように感じる。
- C委員 女性が管理職以上に昇進することによって、今までと仕事の進め方が変わるといった内容であればよいが、女性が管理職になったときにどのようなことがイメージされるかを男女ともに聞きたいのであれば、良い面と悪い面を選ぶ項目のほうがよいのではないかと。
- D委員 これは男女ともに当てはまる内容であり、女性の管理職にこだわるべきことではないと思う。特に回答項目8の「やっかみが出て足を引っ張られる」というものは男女ともに変わらないことである。内容を一考するべきではないかと。
- E委員 問7から9までは、全体的に女性が答えやすいが、男性は答えづらいと思う。女性に向けた質問になっているような印象を受けた。

議長 この質問は女性の活躍推進の中項目の中にあるため、男性の活躍推進を聞いているわけではないと思う。そのことを踏まえて、項目や言葉の使い方等、変更したほうがよいというものがあればお聞かせいただきたい。

E 委員 男性も回答しやすい内容にした方が良くはないか。

F 委員 質問項目自体が女性の活躍推進についてなので、趣旨を理解した上で回答すると個人的には思う。言い回しで気になった箇所は特にない。回答項目を変更するというよりは、質問に男性も関わってくるような言い回しを付け加えることが良いのではないか。

議長 問7については、委員の意見を踏まえて、再考してもらいたい。

事務局 承知した。

議長 問8、9はいかがか。

E 委員 問7同様、文言を追加していただければよいのではないかと思う。

議長 問7の回答項目10が「特にない・分からない」となっているが、問9の回答項目は「特にない」と「分からない」と分かれている。合わせた方が良いのか、質問内容等から検討していただきたい。

事務局 検討する。

D 委員 問22の回答項目8の「これまで女性が少なかった分野」の後に（製造業等）を入れた理由を教えてほしい。

事務局 女性が少なかった分野について、例示を入れたほうが良いと考えた。本市は製造業が多いことから製造業等としたが、作成に当たって悩んだ部分なので、皆様の御意見を伺いたい。

議長 この表現だと例というより製造業に特化しているように感じるが、女性の少なかった分野として想像しやすいようにも感じる。皆さんいかがか。

A 委員 女性が少なかった分野ということを個人が捉えるのであれば、（製造業等）という記載はなくてよいと思う。

事務局 例えば、「分野（製造業等）」を「業種」にすることはどうか。

議長 その表現の方が分かりやすい。委員の皆さんもよろしいか。

事務局 承知した。「女性が少なかった分野（製造業等）」を「女性が少なかった業種」に変更する。

議長 回答項目2に追加された「家事・育児などの無償労働の女性への偏りを解消する」ことについて、具体的にイメージが湧かないが、どのような理由でこの項目を設定したのか。

事務局 これは男女共同参画の大きな課題であり、当市でも取組を進めている。そのため、市民の皆様の意識を確認するために追加したものである。

議長 具体的にはどのような施策になるのか。

事務局 例えば、行政も協働で取り組んでいる男女共同参画推進市民会議の活動等が挙げられる。講演会やセミナーの開催、リーフレットの配布等である。この回答が

多くあり、市民の皆様が問題として捉えているということが分かれば、行政としても一層力を入れていくべきだと考えている。

議長 意識改革のような施策と考えてよいか。

事務局 そのとおりである。固定的な役割分担意識の解消に努めていきたい。文章が分かりにくいのであれば違う表現を検討したいがいかがか。

E委員 意識改革という言葉を入れたほうが分かりやすいのではないか。

議長 委員の意見を踏まえ、事務局に再考してもらいたい。

事務局 承知した。検討する。

議長 問23について、いかがか。

E委員 L G B Tの方と関わる機会があるが、このような調査に答えても結果に反映されないことに悩んでいる方が多い。事務局の説明では、男女別に結果が出るとのことだが、例えば、その他という項目は追加できるのか。多様な方にアンケートが届くと思うため、男性、女性以外の選択項目に回答された方の内容が反映されていることが分かったほうがより良いのではないか。

事務局 調査結果としては男性、女性の結果を活用することになると思うが、報告書には質問項目の「1.女性」、「2.男性」、「3.その他」「4.答えたくない」の4種類の結果を掲載する予定である。

E委員 承知した。

議長 問23の回答項目に「分からない」を入れるという事務局の提案についていかがか。

事務局 市の別の調査では、「その他」と「答えたくない」が一緒になっているものもあったが、回答項目を合わせることは、いかがか。

議長 その他の部分を細かく分析する必要はないと考える。他のことに反映されないため、そのような意識の方がこれだけいるということが分かれば良いのではないか。

E委員 回答項目として、「分からない」より「どちらでもない」の方が良いと思う。

D委員 「答えたくない」は残した方が良いと思う。

議長 「3.その他」をなくし、「1.女性」、「2.男性」、「3.どちらでもない」、「4.答えたくない」という回答項目とする。

次に、事業所調査質問票について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局から資料1、3に基づいて説明)

G委員 問6にはあるが、問5には「特にない」という回答項目がない。これは、女性の活躍を推進するために必ず何か取り組んでいるはずだという気持ちが入っていると推察するが、他と同じような形にする方が良いのではないか。

事務局 承知した。検討する。

D委員 問7の質問項目に「配偶者が出産した従業員」と記載されているため、回答項目も同様に「配偶者」や「パートナー」を追記した方が良いのではないか。

- 事務局 承知した。
- G委員 男性と女性の表記について、回答の順番が逆になっている箇所が見受けられるが、揃えた方が良いのではないか。
- 議長 事務局で統計的にまとめる際に、男女の順番が関係ないのであれば、揃えた方が回答しやすいのではないかと思うがいかがか。
- 事務局 問7は、出産・妊娠という女性に関わる内容のため、女性のことを先に回答していただくよう意図的に配置した。他の質問では、男性や女性で違いがないため、これまでどおり男性を先に配置した。回答する際に間違えてしまうようであれば、分かりやすさを重視し、他に合わせるがいかがか。
- H委員 よく読めば分かると思うが、揃えれば誤解が少ないと思う。
- 事務局 変更した場合、質問によっては内容も変更しなければならないものもあるかどうか。
- 議長 回答する企業の方の意見を伺いたい。
- B委員 問7に関しては、妊娠・出産するのは女性のため、女性が回答項目の左側にあった方が回答する際に自然に感じる。問8から10については、男性、女性のどちらが先でも良いと思うが、男女という呼び方をするように、他のアンケートでも大体、男性の次に女性という順番で回答することが多いので、この順番で問題がなく、違和感もないと思う。
- 議長 このままとする。
- G委員 問16の回答項目2の「回り」は誤字であり、「周り」に修正したほうがよい。
- 事務局 修正する。
- 議長 問19の回答項目に新たに「女性の活躍推進の実施に取り組む企業向けの資金的支援」が追加されているが、企業の方の意見を伺いたい。
- C委員 経営する立場ではないが、資金援助を貰えるのであれば貰いたいと考えるのではないか。また、回答項目にこのように記載されていると、応えてもらえるのかと期待をされてしまうと思う。
- 議長 事業所調査質問票について、経済学の広い視点からアドバイスをお願いしたい。
- I委員 非正規雇用労働者や外国人に焦点を当てた質問があれば良いのではないか。
- 議長 委員の意見を踏まえ、質問項目の追加や内容変更等を事務局に再考してもらいたい。
- 事務局 検討する。
- 議長 次に、中学生意識調査について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局から資料1、4に基づいて説明)

- D委員 前回調査の5年前と一番変わったところとしては、子供たちがタブレットを所持していることや、インターネット環境の普及によりテレビよりもYouTubeを見るようになったことなどが挙げられる。そのため、問4の回答にある「見

るテレビ番組」については、今の時代にあった内容になるように一考するべきではないか。次に、問2の「祖父母と一緒に暮らしていますか。」という記載に非常に違和感を覚える。色々な家族の形がある中で祖父母に限ることはいかがか。また、問7のお手伝いの内容として、回答項目以上に色々なことを行っている子どももいるため、今の中学生の状況に合わせたほうが良いのではないか。これらのことについて、中学生の現状をお聞かせいただきたい。

G委員 5年前と状況が変わっているということは、D委員のお話のとおりだと思う。しかし、この意識調査の目的が男女共同参画というところに絞ってということであれば、質問項目や選択肢等について特に大きく変える必要はないと思う。ただ、細かい部分ではテレビ番組ではなく、ネットに変更するような対応は必要かと思う。

事務局 問2の「祖父母と一緒に暮らしているか」については、世代間の格差もあるため、上の年代からの意識や概念がどれだけ影響があるのか知りたいとの考えから前回は調査しており、今回も残したいと考えた。また、見るテレビ番組もYouTube等になってしまうと、男の子だから女の子だから見てはいけないという干渉が親でさえもできないと考えた。そのため、今の中学生はあまり見ていないかもしれないが、テレビ番組であれば家庭の団らんの中にあると考え、その中で男らしさ、女らしさの押し付けがないか確認できるとして、あえて前回と同じ回答項目にしたものである。お手伝いのことについても、G委員がお話されたように、男女共同参画・男女平等の意識調査であり、前回と大きく内容を変えずに行いたい。

D委員 問2の回答を祖父母に限ると「いる」のか「いない」のかだけになってしまう。例えば、ここに「誰と一緒に暮らしていますか」というような聞き方で、「おじいちゃん」、「おばあちゃん」、「両親」、「兄弟」、「それ以外の方」のような項目設定はできないか。

事務局 検討する。

議長 この意識調査は、長岡市や新潟市のような他市と比べることはあるのか。

事務局 県内では、中学生対象の調査を行っていないところもある。他県も含め、実施している自治体と比較する予定である。

議長 調査結果は外部に提出するためではなく、あくまでも基本計画のための調査と考えてよいか。

事務局 そのとおりである。ただし、結果については市のホームページで公表するため、外部の方も見るができる。私どももインターネットに掲載されている他自治体のものも参考にしている。

議長 他市・他県にはない質問項目があっても良いのか。

事務局 本市独自の項目があっても良い。

議長 そのほかに意見・質問はあるか。

事務局 問1の回答項目を、市民意識調査に合わせて「1.女性」、「2.男性」、「3.どちらでもない」、「4.答えたくない」と変更してよろしいか。

議長 事務局提案のとおり、市民意識調査の回答に揃えることとする。他になければ、本日の議事はここで終了としたい。

5 その他

審議会開催スケジュールについて

(当日配布資料により、事務局から説明)

次回の審議会は、7月中旬頃を予定している。開催時間に夜間を希望される意見もあったため、夜間を含めた時間帯で複数日程をお示ししたい。御都合の良い日程をお知らせいただきたい。

6 閉会